



1. 第75回入学式、令和3年度始業式をおこないました。

ご入学、ご進級おめでとうございます。

桜花満開の好季節です。4月7日(水)に入学式、4月8日(木)には始業式をおこない、新たに希望に満ちた237名の新1年生を迎えることができました。

新1年生は、新しい学校での学習や生活に希望といくらかの不安を抱いて、入学式を迎えたことと思います。また、新2、3年生は新たな学年、クラスに期待を膨らまし、始業式を迎えたことと思います。

私たち教職員は、そのような子どもたちの思いを受け止め、子どもたちにとって、毎日が楽しいと実感できる学校となるよう、教育活動を進めてまいります。

保護者の皆様におかれましては、昨年度同様、本校教育活動に対しまして、温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 始業式でのお話

始業式は密を避けるためリモートでおこないました。子どもたちは各クラスで担任の先生とともにお話を聴いてくれました。その内容を紹介いたします。

2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。改めて1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しいクラスの発表があり、皆さんはいろいろなことを考えたり、思ったりしたと思います。さて、新しいクラスがスタートするにあたり、「様々な先入観を捨ててみてはどうでしょうか」というお話をしたいと思います。皆さんは、これまでの付き合いの中で、この人はあんな人、あの人はこんな人、そして、自分はこんな人という思いや考えをそれぞれが持っていると思います。でも、それが新しいスタートにとっては、邪魔になったり、妨げになったりすることが実に多いのです。皆さんがどれだけ先入観というものに支配されているか、確認してみましょう。よく聴いていてください。

【ビルのオフィスの1階にエレベーターが止まっていました。朝の会社時間で、エレベーターはほぼ満員です。そして、扉が閉まる直前に、もう一人、男の人が乗ってきました。すると、「ピーー！」と重量オーバーのブザーが鳴り響きました。こういう時は、最後に乗った人が降りるのがマナーですが、その男性はブザーが鳴り続けているにも関わらず、まったく知らん顔。周りの人達は、「朝で急いでいるのに、なんて自分勝手な人だ！」と爆発寸前です。しかし、この男性は自分勝手な人では全くなかったのです。一体どういうことでしょうか。】

さて、皆さんはこの話を聞いて、どう思いましたか。実は、男性の耳が不自由だったのです。

普段の生活でこうしたことすべてに気づくことは難しいかもしれませんが、少なくとも「いろいろな事情を抱えている人がいる」ということを、頭の片隅に置いていきたいものです。何か自分の考えに合わない行動を見ただけで、すぐに切れたり、仲間外れにしたりすることは絶対にやめたいものです。

それでは、新しい学年、新しい担任の先生のもと、互いに絆を深め、津田中学校1番の思い出に残る学年、クラスにしましょう！